



# クリープ疲労試験

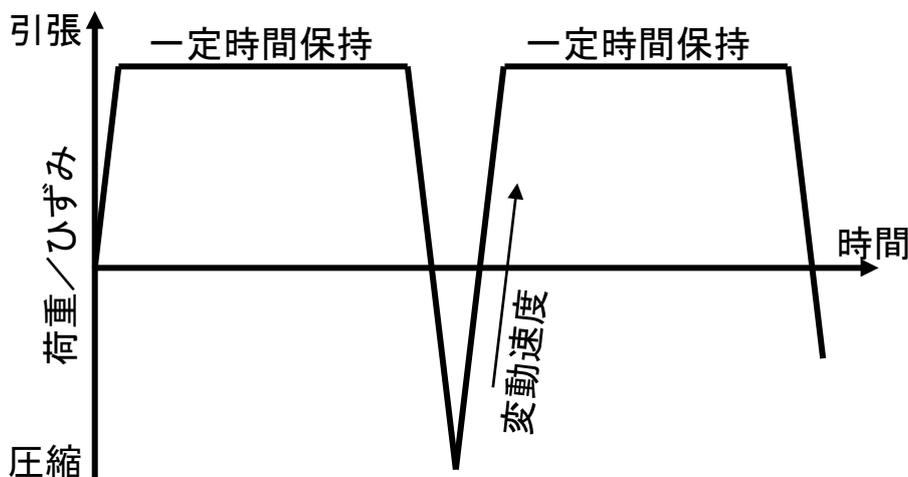
荷重保持もしくはひずみ保持を繰り返すクリープ疲労試験を行います。

## 技術の概要

ガスタービン発電機器においては、再生可能エネルギーのバックアップ運用等により、高温高負荷条件が高頻度で繰り返されるため、クリープ損傷と疲労損傷が重畳したクリープ疲労損傷が懸念される場合があります。お客様のご要望に応じて、一定負荷と繰返し負荷を組み合わせたクリープ疲労試験が実施できます。

## クリープ疲労試験の負荷波形例

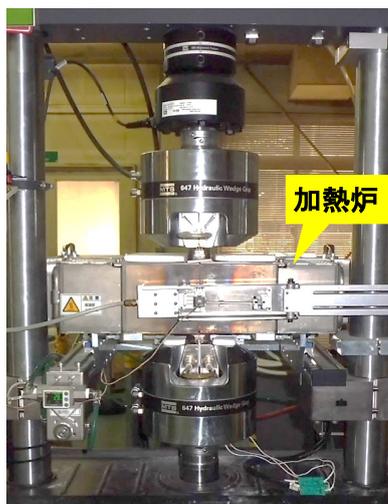
保持時間、保持レベル、変動速度を様々に設定できます。



クリープ疲労試験の負荷波形例

## クリープ疲労試験装置

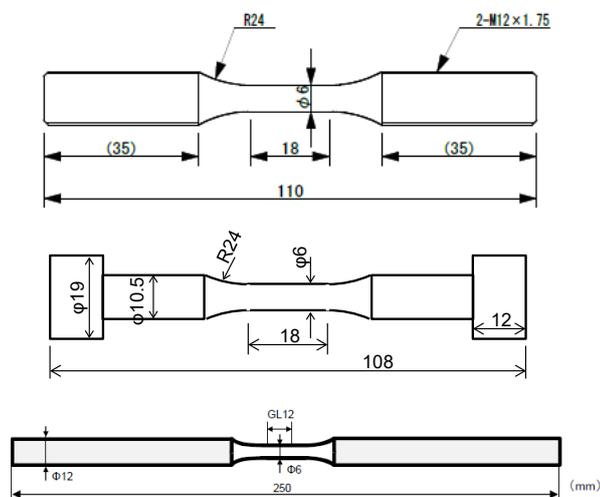
- 試験温度： 400～1200℃（800℃以上は要相談）
- 試験片形状： ネジ型、ボタンヘッド型、長尺型
- 制御方式： 荷重制御、ひずみ制御



クリープ疲労試験機



試験片取付状況



試験片形状(例)